

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

香簗小	学校	児童数	24
-----	----	-----	----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.73	13.58	31.92	41.00	51.33	9.56	136.00	19.92	48.27
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.89	15.90	40.70	44.40	56.30	8.91	133.50	17.38	60.25
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の分析から、全国平均と比較すると、本校児童は、男子は反復横とび・20mシャトルランの2種目、女子は握力・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・ソフトボール投げの6種目で全国平均を上回った。

女子では、総合評価 A・B 判定が 50%、D・E 判定が 0%であり、体力水準が高いことが分かる。一方、男子では総合評価 A・B 判定が 27.3%と全国平均より 6.9%低く、E 判定が 36.4%と全国平均より 24.4%多いことから、体力の二極化が見られる。1週間の総運動時間が 60 分未満の児童は、男子 16.7%、女子 30%で、全国平均と比較すると男子は 6.9%、女子は 12.7%多い。このことから、体育の授業以外で運動を行う時間を確保し、継続して身体を動かす習慣を身につけることが体力向上につながると考えられる。

児童質問紙では、「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に男子 83.3%、女子 100%が肯定的に回答した。「体育の授業は楽しいですか」でも男子 83.3%、女子 100%、「体育の授業に進んで参加していますか」でも男子 83.3%、女子 100%が肯定的で、多くの児童が積極的に体育の授業に取り組んでいることが分かる。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育の授業では、体力向上のためにラダートレーニングやミニハードルを用いた敏しょう性を高める運動を実施した。また、トップアスリートの招聘を通して、児童の体力向上と運動意識の向上を図った。学校行事においては、集会活動としてかけ足集会やなわとび集会を全校で取り組み、活動内容と運動時間の確保に努めた。これらの活動では、かけ足カードやなわとびカードを活用し、休み時間にも積極的に体力づくりへ取り組む児童が増えている。

今後も、体育の授業ごとに児童が主体的に身体を動かし、運動の楽しさを感じられるよう、継続的な行事や取り組みを進めていく。